



事前研修(6/4) 第2回事前研修

阿倍野防災センター ～「災害に備える」～

大阪市立阿倍野防災センターを訪問し、2時間のプログラムを体験しました。被災時に自分たちがまずできること、自助・共助について学ぶことができました。

- ・ 災害発生時の初期対応・初期消火
- ・ 実際の煙の中での避難体験
- ・ 災害発生後の街中での危険対応
- ・ 震度7体験
- ・ 車いす等での支援体験
- ・ 救助／応急処置等の体験



煙の中の避難体験



被災後の車椅子介助



倒壊現場での救助

生徒たちの振り返り・感想

2年中村

阿倍野防災センターでは改めて災害に対する恐怖、そして何よりも助け合うことの大切さを実感することが出来ました。正直今まで災害に対して、私が生きている間に絶対南海トラフ来るやん嫌やなあくらいにしか思っていませんでした。ですが、今回のプロジェクトを通してその考えは変わりました。災害はいつ起きてもおかしくないし、実際に政府は2022年1月13日に今後40年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率が90%にあると公表しています。もしかしたら今後災害によって大切な人をなくすかもしれないし、最悪の場合自分自身も被害にあうかもしれない、そんなことが無いように今のうちに対策しておくことが大事だと気付かされました。今まで知らなかった消化器の使い方、火災が起きたときに避難する方法、車椅子に乗っている人の正しい運び方、挟まって動けない人の救助の仕方、震度7の大きさなどは実際に体を使って体験することが出来たので、実際にこれらの得た知識を使って今後自分に出来ることがあるのなら、恐れずに真っ先に動ける人になりたいと思いました。

2年石渡

大阪府や大阪市に特化した防災施設に行くことが初めてだったので改めて大阪府は災害が起きやすい地形ということを知ることが出来ました。初めて体験したことが多く、消火器は見たことはありましたが触れて使ったことがありませんでした。火災避難のシュミレーションをするエリアで実際に煙のようなものを用いるのが初めてで煙の怖さやより低い体勢で避難することが重要かということが分かりました。震度7を体験するコーナーでは実際に震度7の恐ろしさを知って、大地震が起こる前からの備えがとても重要だと学びました。今回訪れた施設は自分たちで体験する実践型のものが多く、色々な災害で直接活かせそうだと思います。